令和4年度

定期監査報告書(令和3年度企業会計)

阿蘇市監查委員

目 次

企 業 会 計

1 2 3 4	監査の対象 監査の日程 監査の方法 監査の結果	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	•	1 1 1 1
«	病院事業≫ 阿蘇医療センター	,	•	• •	• (•	٠	•	•	•	•	• •	•	•	•	0	2
«	水道事業≫ 上下水道課	,	•	• (٠		•	٠	•	• (•	•	•	11
5	講評・所感		٠	٠	۰			۰	٠	٠	٠	٠	٠	٠				٠	•	•				•	15

(注 記)

- 1 本書中の数値は、単位未満四捨五入している。
- 2 単位未満四捨五入のため、計及び合計が一致しない場合がある。
- 3 「0」は、当該数値はあるが表示単位未満のものまたは、当該数値のない場合も含まれる。
- 4 「一」は、当該数値がない場合である。
- 5 「△」または「-」は数値のマイナスを表す。
- 6 構成比率 (%) は、合計が 100 となるよう一部調整している。

(関係条文)

・地方自治法第199条第1項

監査委員は、普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び普通地方公共団体の経営に係る事業の管理を監査する。

・地方自治法第 199 条第 4 項

監査委員は、毎会計年度少なくとも1回以上期日を定めて第1項の規定による監査をしなければならない。

・地方自治法第199条第9項

監査委員は、監査の結果に関する報告を決定し、これを普通地方公共団体の議会及び長並びに関係ある教育委員会、 選挙管理委員会、人事委員会若しくは公平委員会、公安委員会、労働委員会、農業委員会その他法律に基づく委員会ま たは委員に提出し、かつ、これを公表しなければならない。

定期監查報告書

第1 監査の概要

1 監査の対象

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの公営企業阿蘇市病院事業及び水道事業における事務及び予算の執行、財産の管理の状況について、地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき監査を実施した。

2 監査の期間

令和4年6月10日から令和4年6月24日までの間

3 実施した監査手続

監査の対象となった財務に関する事務の執行について、提出された資料並びに提示の あった関係書類及び会計書類及び会計帳簿等に基づいて、証憑突合その他通常実施すべ き監査手続を実施した。

また、当事業の管理の状況についても、提出された資料及び提示のあった関係書類等に 基づいて、質問を行うとともに、必要と認めたその他の監査手続を実施した。

第2 監査の結果

監査の結果、当事業に係る財務に関する事務は、関係法令、会計規程等に準拠して、おおむね適正に執行されているものと認められた。

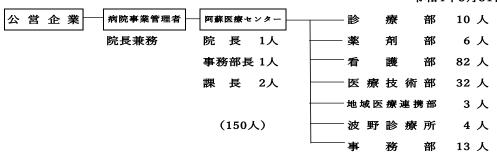
講評・所感においては、改善検討を望むとした事項を記述したが、事務処理における軽易な事項については、その都度、関係職員に対して適切な処理を講ずるよう指示したところである。

今後とも事務処理に十分留意し、検討善処されたい。

【阿蘇医療センター】

(1) 職員構成

令和4年3月31日現在



	THE ACCURA				令和3年	 年度末現員	
	職種別	定員	令和2年度末現員	実績	内波野診療所	前年度増減	定員との比較
	医師 (波野診療所含)	15	10	11	1	1	$\triangle 4$
	薬剤師	4	6	6	0	0	2
	看護師(波野診療所含)	74	86	84	3	\triangle 2	10
	准看護師	12	1	1	0	0	△ 11
	看護補助	6	0	0	0	0	△ 6
	社会福祉士	2	2	3	0	1	1
正	診療放射線技師	4	6	6	0	0	2
職	臨床検査技師	4	6	7	0	1	3
員	臨床工学技士	2	4	3	0	△ 1	1
	理学療法士	4	7	9	0	2	5
	作業療法士	2	3	4	0	1	2
	管理栄養士	2	2	2	0	0	0
	言語療法士	1	1	1	0	0	0
	ボイラー技士	1	2	2	0	0	1
	事務職員 (波野診療所含)	8	12	11	0	△ 1	3
	計	141	148	150	4	2	9
会	非常勤医師(波野診療所含)		30	30	18	0	_
計	看護師		12	11	0	△ 1	
年	准看護師		3	3	0	0	
度	臨床検査技師	_	1	1	0	0	
任	リハビリ助手	l	1	1	0	0	
用	職員(波野診療所含)		9	9	1	0	
職	管理栄養士		2	1	0	△ 1	_
員	歯科衛生士 (波野診療所含)		2	2	2	0	
	医療事務		14	17	0	3	
	看護補助等職員		17	17	0	0	
委	給食調理業務	_	13	11	0	\triangle 2	_
託	院内清掃業務		8	8	0	0	_
関	患者送迎等用務業務		1	1	0	0	
係	宿日直警備職員		5	6	0	1	_
	SPD業務	_	2	3	0	1	_
	売店業務		3	3	0	0	_
	計		123	124	21	1	
	合計		271	274	25	3	

(2) 病院のあらまし

名 称:阿蘇医療センター

所 在 地:阿蘇市黒川 1266 番地

開設年月日:昭和25年5月15日

開院年月日:平成26年8月6日

敷地面積: 26,335 m²

延 床 面 積:11,230 m² (建築面積 6,064 m²)

病 棟 (免震構造、鉄筋コンクリート4階建)

外来棟 (耐震構造、鉄筋コンクリート建)

中央診療棟(免震構造、鉄筋コンクリート2階建)

院内保育・病児病後児保育所:92.16 ㎡(木造平屋建)(令和4年4月1日開所)

医 師 住 宅:603 m² (RC造陸屋根、2 階建、3 棟、間取り 3LDK)

(3) 事務事業の概要

① 令和3年度の主な事務事業

1. 感染症等の医療への対応について

感染症等への対応としては、新型コロナウイルス感染症における「帰国者・接触者(発熱)外来」を令和2年度から継続して設置し、新型コロナウイルス感染症疑似症患者の診察(検査含む)及びトリアージを実施するとともに、新型コロナワクチン接種を小児にも拡大して順次進めるとともに、阿蘇圏域唯一の第2種感染症指定医療機関として、昼夜を問わず、院内感染に細心の注意を払いながら、新型コロナウイルス感染症陽性患者等(疑似症患者含む)の入院治療による受入(感染症の発生以来本年3月まで延べ90名)を実施した。

なお、当院所属の感染管理認定看護師などの派遣による阿蘇地域の医療機関並びに高齢者 施設等への感染対策に係る講習、指導等を実施することにより、感染拡大(クラスター)防 止を図っている。

また、院内感染を防止するために感染に係る研修会を実施するとともに面会などの病院への立入を禁止とし、入院患者の感染を極力回避する体制を継続している。

2. 収益増収への取り組みについて

新型コロナウイルス感染症への対応で、4階病棟を閉鎖していることから84床での運用となっているが、第2種感染症指定医療機関として陽性患者の受け入れのための医療提供体制の整備を進め病床確保を行い、県の重点医療機関の要件を満たし、その指定により国の運営費補助金等の活用により、入院制限における収益の減収分を補っている。

また、令和3年4月から市民の方から要望のあった婦人科外来を開設し、併せて、各診療 科の常勤医師の確保を図り、外来患者の増加を図っている。

さらに、子育て世代の医師や看護師等の確保のため、院内保育所を、病児・病後児保育所 と併せて敷地内に整備を進め、令和4年4月から開所し、未就学児の受け入れができるよう 取り組んでいる。 なお、このような状況下でも診療単価(前年比入院単価:106.0%、外来単価:104.1%)の 増額を達成し、本来の稼働に戻った時には収益増収の見込みとなっている。

おって、メディカルコードシステムの活用により、院内の関係部署による定期的な検討会を開催し、令和4年度の診療報酬改定と看護必要度変更に対する対策等、医学管理料の算定率向上を図るとともに、厚生労働省が認める DPC 対象病院(診療群分類包括評価)となるため、部署間の連携による情報共有研鑽に努めてきた。

3. 病院の利用状況について

外来診療日数年間 241 日で、①延べ外来患者数 53,697 人(波野診療所 3,162 人含む)、一日平均 222.8 人(前年度比 21.5 人増)、波野診療所 16.7 人、②延べ入院患者数 21,745 人(前年度比 299 人増)、病床稼働率 (4 階病棟閉鎖) 48.9%(前年度比 0.1%減)とほぼ前年並みの稼働となっているが、診療単価では入院が 38,891 円(前年度比 2,196 円増)、外来が 11,621 円(前年度比 458 円増)となり、外来・入院診療単価ともに毎年増額となっており、平時に戻った場合には効率的な収益増加が見込まれる体制となっている。

なお、患者紹介率の上昇により、圏域医療機関との連携関係を構築することで、提供する 医療の質向上を図っている。

また、女性看護師の若年採用による産前・産後休暇取得者が大幅に増えていることから、 看護体制(10:1)の維持と働く環境の改善への取り組みを行うことで、離職防止を図るとと もに適正人数の配置を維持するため、引き続き各種ガイダンスや養成学校の勧誘訪問を実施 します。

(診療科目)

前年度
阿蘇医療センター
内科
循環器内科
脳神経内科
リウマチ膠原病内科
脳神経外科
消化器外科
乳腺・内分泌外科
整形外科
リハビリテーション科
腫瘍内科
小児科
糖尿病・代謝・内分泌内科
歯科口腔外科
消化器内科
血液内科
腎臓内科
耳鼻咽喉科
呼吸器内科
波野診療所
内科
外科
整形外科
歯科

(病床数)

区 分	病棟	当年度	前年度
,==	一般	120 床	120 床
病床数	療養	0 床	0 床
安 义	感染症	4 床	4 床
病床利月		48.9%	49.0%

② 事務実績の状況

病院事業の業務実績は表 1 のとおりで、阿蘇医療センターは令和 3 年度入院患者数 21,745 人 (1日平均 59.6 人)、前年度 21,446 人 (1日平均 58.8 人)、外来患者数 53,697 人 (1日平均 221.9 人)、前年度 48,915 人 (1日平均 201.3 人)で前年度と比較すると、入院患者数で 299 人 (1.4%)の増、外来患者で 4,782 人 (9.8%)の増であった。

波野診療所は医科の患者数 2,458 人 (1日平均 13.0 人)、前年度 2,668 人で (1日平均 14.1 人) で前年度と比較すると 210 人の減、歯科では患者数 706 人 (1日平均 7.9 人)、前年度 803 人 (1日平均 8.8 人) で、前年度から 97 人の減であった。

(表1) 患者数の推移

					比	較
区 分	当年度	1 日平均	前年度	1 日平均	増減	比率
					(人)	(%)
阿蘇医療センター						
入院患者数	21,745 人	59.6 人	21,446 人	58.8 人	299	1.4
外来患者数	53,697 人	221.9 人	48,915 人	201.3 人	4,782	9.8
波野診療所						
外来患者数 (医科)	2,458 人	13.0 人	2,668 人	14.1 人	△210	△7.9
外来患者数 (歯科)	706 人	7.9 人	803 人	8.8 人	△97	△12.1
合 計	78,606 人		73,832 人		4,774	6.5

(表 2) 科別患者 (阿蘇医療センター)

豆八						入	院					
区分	内科	外科	整形外科	小児科	脳神経外科	循環器科	脳神経内科	消化器内科	消化器外科	代謝内科	歯科口腔外科	計
4月	692	0	342	3	216	329	0	0	142	0	13	1,73
5月	747	0	306	9	211	276	0	0	120	0	0	1,669
6月	544	0	371	14	221	226	0	0	193	5	4	1,578
7月	722	0	339	8	373	343	1	0	124	8	9	1,927
8月	762	0	293	15	293	238	0	0	100	3	5	1,709
9月	663	0	300	5	295	203	0	0	230	0	10	1,700
10月	668	0	358	4	239	290	0	0	286	1	16	1,862
11月	925	0	357	3	246	229	0	3	253	0	13	2,029
12月	685	0	323	2	414	326	0	2	231	0	20	2,003
1月	699	0	333	5	294	309	0	0	276	0	10	1,926
2月	697	0	215	0	331	219	0	0	218	0	9	1,689
3月	722	0	327	0	352	252	0	0	238	0	19	1,910
合計	8,526	0	3,864	68	3,485	3,240	1	5	2,411	17	128	21,745
1日平均	23	0	11	0	10	9	0	0	7	0	0	60
診療日数												

(単位:人)

										外 来									
区分	内科	整形	小児科	循環器	脳神経	脳神経	消化器	リウマチ膠	乳腺内	代謝	血液・免 疫内科	腫瘍	消化器	歯科口	耳鼻	腎臓	呼吸器	婦人科	計
	4.0=0	外科	0=0	内科	内科	外科	外科	原病科	分泌外	内科		内科	内科	腔外科	咽喉科	内科	内科	_	
4月	1,379	582	279	506	74	550	98	60	37	259	9	0	85	79	64	20	60	5	4,146
5月	1,401	547	304	522	62	513	127	51	28	228	9	0	83	76	55	18	63	2	4,089
6月	1,393	651	276	466	101	494	188	63	31	214	11	0	85	78	69	18	55	3	4,196
7月	1,523	602	368	501	75	532	132	52	36	265	11	0	97	86	65	21	60	7	4,433
8月	1,553	703	424	514	74	582	170	58	30	221	9	0	63	73	62	34	53	8	4,631
9月	1,547	659	320	494	85	619	172	44	56	233	10	0	122	89	77	45	63	9	4,644
10月	1,476	639	372	515	77	665	174	50	47	236	15	0	121	93	53	35	60	10	4,638
11月	1,466	679	302	508	66	565	170	44	56	213	15	0	99	88	64	30	58	20	4,443
12月	1,435	607	343	449	74	558	187	56	31	216	14	0	100	90	79	35	63	10	4,347
1月	1,436	562	416	461	87	935	146	48	35	210	10	0	109	80	85	36	62	15	4,733
2月	1,302	586	365	431	55	856	155	52	33	188	12	0	88	81	61	30	60	15	4,370
3月	1,372	601	466	496	110	990	242	51	36	237	11	0	97	101	85	40	77	15	5,027
合計	17,283	7,418	4,235	5,863	940	7,859	1,961	629	456	2,720	136	0	1,149	1,014	819	362	734	119	53,697
1日 平均	71	39	18	24	20	41	15	57	19	28	11	0	9	8	17	7	8	5	
診療 日数	242	189	241	242	47	192	134	11	24	98	12	0	135	127	49	50	97	24	

(表 3) 経営の状況 (単位:円:%)

区 分	元年度	2年度	3年度
総収益	2,142,133,528	2,945,329,441	2,980,183,061
(うち医業収益)	1,616,035,978	1,444,460,862	1,581,700,373
総費用	2,519,629,004	2,486,462,565	2,467,842,843
当年度純損益	△ 377,495,476	458,866,876	512,340,218
その他未処分利益剰余金変動額	_	_	_
当年度末処理欠損金	△ 2,495,748,646	△ 2,036,881,770	△ 1,524,541,552
単年度利益比率	△ 23.4	31.8	32.4
利益剰余金比率	△ 154.4	△ 141.0	△ 96.4
総収支比率	85.0	118.5	120.8

(4) 収益的収入及び支出 (令和3年4月1日~令和4年3月31日まで)

事業収益は、予算現額 27 億 4,356 万 9 千円に対し、決算額 29 億 8,951 万 7,361 円で、執行率 109.0%となる。事業費用は、予算現額 27 億 4,356 万 9 千円に対し、決算額 24 億 4,606 万 6,325 円で、不用額は 2 億 9,750 万 2,675 円となっている。

収入(消費税込) (単位:円)

区分		予 算 現 額		決算額	予算額に比べて	執行率	備考
	当初予算額	補正予算額	計		決算額の増減	±V111 .1.	(仮受消費税)
第1款 病院事業収益	2,743,569,000	0	2,743,569,000	2,989,517,361	245,948,361	109.0	9,334,300
第1項 医業収益	2,224,113,000	△ 503,106,000	1,721,007,000	1,590,156,544	△ 130,850,456	92.4	8,456,171
第2項 医業外収益	519,406,000	503,106,000	1,022,512,000	1,393,243,433	370,731,433	136.3	878,129
第3項 特別利益	50,000	0	50,000	6,117,384	6,067,384	12,234.8	0

支 出(消費税込) (単位:円)

			予 算	現額			地方公営企		備考
区	分	当初予算額	補正・ 予備費	地方公営企業法 第26条第2項の 規定による 繰越額	ा <u>र्</u> च	決算額	業法第26条 第2項の規 定による 繰越額	不用額	(仮払消費税)
第1款	病院事業費用	2,743,569,000	0	0	2,743,569,000	2,446,066,325	0	297,502,675	66,636,004
第1項	医業費用	2,681,476,000	1,300,000	0	2,682,776,000	2,390,039,200	0	292,736,800	66,636,004
第2項	医業外費用	54,734,000	2,314,800	0	57,048,800	55,799,206	0	1,249,594	0
第3項	特別損失	1,900,000	0	0	1,900,000	227,919	0	1,672,081	0
第4項	予備費	5,459,000	△ 3,614,800	0	1,844,200	0	0	1,844,200	0

(5) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 3 億 2,672 万 5 千円に対し、決算額 3 億 131 万 4 千円で執行率 92.2% となる。資本的支出は、予算現額 3 億 9,2 3 4 万 3 千円に対し、決算額 3 億 5,573 万 8,708 円で、地方公営企業法第 2 6 条の規定による繰越額 848 万 3,039 円を差引くと、不用額は 2,812 万 1,253 円となっている。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 5,442 万 4,708 円は、過年度分損益勘定留 保資金で補填されている。 収入(消費税込) (単位:円)

		予算	草現額					
区分	当初予算額	1 補正予算額	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係 る財源充当額	# 	決算額	執行率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (仮消費税)
第1款 資本的場	汉入 221,476,00	91,649,000	13,600,000	326,725,000	301,314,000	92.2	△ 25,411,000	0
第1項 企業債	112,300,00	△ 46,800,000	0	65,500,000	38,000,000	58.0	△ 27,500,000	0
第2項 他会計負	担金 61,176,00	55,400,000	0	116,576,000	99,076,000	85.0	△ 17,500,000	0
第3項 補助金	48,000,00	83,049,000	13,600,000	144,649,000	164,238,000	113.5	19,589,000	0

支 出 (消費税込み) (単位:円)

		予 算	現額			地方公営企業		进 赵	
区 分	当初予算額	補正・予備費	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越		決算額	法第26条の規 定による繰越 額	不 用 額	備 考 (仮消費税)	
第1款 資本的支出	285,806,000	91,049,000	15,488,000	392,343,000	355,738,708	8,483,039	28,121,253	18,814,032	
第1項 建設改良費	137,420,000	91,049,000	15,488,000	243,957,000	207,354,360	8,483,039	28,119,601	18,814,032	
第2項 企業債償還金	122,352,000	0	0	122,352,000	122,351,015	0	985	0	
第3項 他会計借入金償還金	26,034,000	0	0	26,034,000	26,033,333	0	667	0	

(6) 企業債償還状況 (単位:円)

前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高	
3,219,160,245	75,900,000	122,351,015	3,172,709,230	

(7) 経営の状況 (比較損益計算書)

本年度の経営状況は、以下の比較損益計算書のとおり、総収入 29 億 8,018 万 3,061 円に対し、総支出 24 億 6,784 万 2,843 円で 5 億 1,234 万 218 円が当年度純利益となっている。

収 入(消費税抜き)

(単位:円:%)

項目	元年度	2 年度(A)	3 年度(B)	増減額 (C)	増減率
タ ロ	九千及	2 中皮(11)	3年及(b)	(B) - (A)	C/A*100
1 医業収益	1,616,035,978	1,444,460,862	1,581,700,373	137,239,511	9.5
①入院収益	951,145,676	791,214,005	845,920,551	54,706,546	6.9
②外来収益	591,146,436	571,912,565	650,582,389	78,669,824	13.8
③その他医業収益	73,743,866	81,334,292	85,197,433	3,863,141	4.7
2 医業外収益	519,075,941	1,500,283,602	1,392,365,304	△ 107,918,298	△ 7.2
①受取利息配当金	2,902	2,404	6,316	3,912	162.7
②他会計負担金	344,164,000	323,723,000	380,982,000	57,259,000	17.7
③補助金	41,781,980	1,059,803,860	907,719,860	△ 152,084,000	△ 14.4
④長期前受金戻入	123,760,578	106,739,051	92,419,785	△ 14,319,266	△ 13.4
⑤その他医業外収益	9,366,481	10,015,287	11,237,343	1,222,056	12.2
3 特別利益	7,021,609	584,977	6,117,384	5,532,407	945.7
①過年度損益修正益	7,021,609	584,977	6,117,384	5,532,407	945.7
②その他特別利益	0	0	0	0	_
合 計	2,142,133,528	2,945,329,441	2,980,183,061	34,853,620	1.2

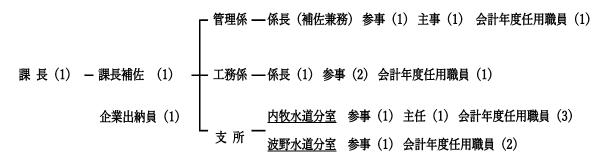
支 出(消費税抜き)

(単位:円:%)

項目	元年度	2 年度(A)	3 年度(B)	増減額(C)	増減率
点 日 	几千度	Z 平度(A)	3 平及(B)	(B)-(A)	C/A*100
1 医業費用	2,402,952,907	2,335,553,200	2,323,403,196	△ 12,150,004	$\triangle 0.5$
① 給与費	1,390,915,622	1,367,904,493	1,375,057,842	7,153,349	0.5
② 材料費	262,134,267	252,447,255	282,513,438	30,066,183	11.9
③ 経費	454,761,066	483,705,538	504,785,474	21,079,936	4.4
④ 減価償却費	291,865,493	229,501,318	158,664,442	△ 70,836,876	△ 30.9
⑤ 資産減耗費	0	0	0	0	_
⑥ 研究研修費	3,276,459	1,994,596	2,382,000	387,404	19.4
2 医業外費用	116,211,874	148,477,771	144,211,728	△ 4,266,043	△ 2.9
① 支払利息及び 企業債取扱諸費	41,372,026	40,151,609	38,328,725	△ 1,822,884	\triangle 4.5
② 消費税	5,267,100	6,662,100	7,814,800	1,152,700	17.3
③ 雑支出	59,917,067	92,008,381	88,412,522	△ 3,595,859	△ 3.9
④ 雑損失	0	0	0	0	_
⑤繰延勘定償却	9,655,681	9,655,681	9,655,681	0	_
3 特別損失	464,223	2,431,594	227,919	\triangle 2,203,675	△ 90.6
① 過年度損益修正損	464,223	2,431,594	227,919	△ 2,203,675	△ 90.6
②その他特別損失	0	0	0	0	_
合 計	2,519,629,004	2,486,462,565	2,467,842,843	△ 18,619,722	$\triangle 0.7$

【上下水道課】

(1) 職員構成(水道事業)



水道施設の新設、更新及び維持管理、使用水量の認定、検針、水道料金出納等の事務を本 庁、各支所分室の職員 18 人(会計年度任用職員を含む)で執行しており、その事務事業はお おむね適正に執行されているものと認めた。

(2) 収益的収入及び支出

事業収益は、予算現額 4 億 9,271 万 2 千円に対し決算額 4 億 9,960 万 7,043 円で、執行率 101.4%となる。事業費用は、予算現額 4 億 9,233 万円に対し決算額 4 億 5,900 万 1,439 円で執行率 93.2%となっている。

収益的収入(消費税込み)

(単位:円:%)

区 分	予	算 現	額	決算額	予算額に比べ	執行率	備考
	当初予算額	補正予算額	合計	次 异 俄	決算額の増減	秋111中	(仮受消費税)
第1款 上水道事業収益	483,791,000	0	483,791,000	491,215,996	7,424,996	101.5	37,596,146
第1項 営業収益	425,720,000	0	425,720,000	431,679,162	5,959,162	101.4	37,075,696
第2項 営業外収益	58,071,000	0	58,071,000	59,536,834	1,465,834	102.5	520,450
第2款 簡易水道事業収益	8,921,000	0	8,921,000	8,391,047	△ 529,953	94.1	452,516
第1項 営業収益	3,240,000	0	3,240,000	2,116,704	△ 1,123,296	65.3	192,329
第2項 営業外収益	5,681,000	0	5,681,000	6,274,343	593,343	110.4	260,187
合 計	492,712,000	0	492,712,000	499,607,043	6,895,043	101.4	38,048,662

収益的支出(消費税込み)

(単位:円:%)

		予	算 琲	見 額		14 Mr 45	±1.47.557	備考
区分	当初予算額	補正額	予備費	流用	合 計	決算額	執行率	(仮払消費税)
第1款 上水道事業費用	462,300,000	5,000,000	0	2,307,242	469,607,242	444,845,905	94.7	10,551,409
第1項 営業費用	421,520,000	5,000,000	0	0	426,520,000	402,198,903	94.3	10,537,496
第2項 営業外費用	40,580,000	0	0	△ 6,205,900	34,374,100	33,929,054	98.7	0
第3項 特別損失	200,000	0	0	8,513,142	8,713,142	8,717,948	100.1	13,913
第2款 簡易水道事業費用	20,030,000	0	0	△ 1,000,000	19,030,000	14,155,534	74.4	634,600
第1項 営業費用	18,230,000	0	0	0	18,230,000	13,476,695	73.9	634,600
第2項 営業外費用	1,750,000	0	0	△ 1,000,000	750,000	678,839	90.5	0
第3項 特別損失	50,000	0	0	0	50,000	0	0.0	0
第3款 予 備 費	5,000,000	0	0	△ 1,307,242	3,692,758	0	0.0	0
第1項予備費	5,000,000	0	0	△ 1,307,242	3,692,758	0	0.0	0
合 計	487,330,000	5,000,000	0	0	492,330,000	459,001,439	93.2	11,186,009

(3) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 1 億 9,510 万 3 千円に対し、決算額 2 億 192 万 3,400 円で執行率 103.5%となり、資本的支出は、予算現額 4 億 408 万円に対し、決算額 3 億 8,204 万 9,987 円で執行率 94.5%となる。

資本的収入(消費税込み)

(単位:円:%)

区 分	-	予 算 現 額	į	決算額	執行率	備考
	当初予算額	補正額	合計	八开帜	₩11 +	(仮受消費税)
第1款 上水道事業	32,581,000	159,000,000	191,581,000	198,541,400	103.6	604,400
第1項 企業債	0	150,000,000	150,000,000	164,700,000	109.8	0
第3項 他会計補助金	27,191,000	0	27,191,000	27,193,000	100.0	0
第4項 工事負担金	0	9,000,000	9,000,000	1,148,400	12.8	104,400
第5項 加入金	5,390,000	0	5,390,000	5,500,000	102.0	500,000
第8項 国庫補助金	0	0	0	0	0.0	0
第2款 簡易水道事業	3,522,000	0	3,522,000	3,382,000	96.0	0
第2項 加入金	140,000	0	140,000	0	0.0	0
第3項 他会計補助金	3,382,000	0	3,382,000	3,382,000	100.0	0
合 計	36,103,000	159,000,000	195,103,000	201,923,400	103.5	604,400

資本的支出(消費税込み)

(単位:円:%)

		予 算	現 額		VI. Min dee		地公企法第26条に	備考
区 分	当初予算額	補正・流用額	地公企法第26条に よる繰越額	合計	決算額	執行率	よる翌年度繰越額	(仮払消費税)
第1款 上水道事業	185,190,000	202,000,000	0	387,190,000	376,333,110	97.2	0	20,668,151
第1項 建設改良費	36,250,000	202,000,000	0	238,250,000	227,611,009	95.5	0	20,668,151
第2項 企業債償還金	148,940,000	0	0	148,940,000	148,722,101	99.9	0	0
第2款 簡易水道事業	11,890,000	0	0	11,890,000	5,716,877	48.1	0	100,000
第1項 建設改良費	7,230,000	0	0	7,230,000	1,100,000	15.2	0	100,000
第2項 企業債償還金	4,660,000	0	0	4,660,000	4,616,877	99.1	0	0
第3款 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0	0
第1項 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0	0
合 計	202,080,000	202,000,000	0	404,080,000	382,049,987	94.5	0	20,768,151

(4) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、比較損益計算書のとおりで、総収入 4 億 6,155 万 8,381 円に対し、総 支出 4 億 4,114 万 7,552 円で 2,041 万 829 円が当年度純利益となっている。

(単位:円:%)

 \triangle 881,113 \triangle 0.19

(単位:円:%)

収入 (消費税抜き)

⑤補助金

3 特別利益

収入合計

	令和3年度	(A)	令和2年度	(B)	増減額(C) (A)-(B)	増減率
	金額	構成比	金額	構成比	金額	C/B*100
1 営業収益	396,527,841	85.9	398,218,541	86.1	△ 1,690,700	\triangle 0.4
①給水収益	371,148,591	80.4	372,858,932	80.6	△ 1,710,341	$\triangle 0.5$
②受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	_
③その他の営業収益	25,379,250	5.5	25,359,609	5.5	19,641	0.1
2 営業外収益	65,030,540	14.1	64,220,953	13.9	809,587	1.3
①受取利息及び配当金	129,724	0.0	195,277	0.0	△ 65,553	△ 33.6
②他会計補助金	5,588,000	1.2	6,096,000	1.3	△ 508,000	△ 8.3
③長期前受金戻入	51,440,399	11.1	50,534,403	10.9	905,996	1.8
④雑収益	7,872,417	1.7	7,395,273	1.6	477,144	6.5

支 出 (消費税抜き)

461,558,381

0

0.0

0.0

462,439,494

100.0

0.0

0.0

100.0

	令和3年度	£(A)	令和2年度	₹(B)	増減額 (C) (A)-(B)	増減率
	金額	構成比	金額	構成比	金額	C/B*100
1 営業費用	404,503,502	91.7	394,889,233	93.3	9,614,269	2.4
①原水及び浄水費	48,294,071	10.9	49,818,015	11.8	△ 1,523,944	△ 3.1
②配水及び給水費	34,144,044	7.7	39,721,424	9.4	△ 5,577,380	△ 14.0
③総係費	139,272,704	31.6	124,573,952	29.4	14,698,752	11.8
④減価償却費	182,769,708	41.4	180,321,940	42.6	2,447,768	1.4
⑤資産減耗費	22,975	0.0	453,902	0.1	△ 430,927	△ 94.9
2 営業外費用	27,940,015	6.3	28,482,949	6.7	△ 542,934	△ 1.9
①支払利息及び企業債取扱諸費	25,813,793	5.9	28,468,511	6.7	△ 2,654,718	△ 9.3
②雑支出	2,126,222	0.5	14,438	0.0	2,111,784	14,626.6
③繰延勘定償却	0	0.0	0	0.0	0	_
3 特別損失	8,704,035	2.0	17,575	0.0	8,686,460	49,425.1
①過年度損益修正損	8,704,035	2.0	17,575	0.0	8,686,460	49,425.1
支出合計	441,147,552	100.0	423,389,757	100.0	17,757,795	4.2
当年度純利益	20,410,829		39,049,737		△ 18,638,908	△ 47.73

【 収入未済額調 】 (単位:円:%)

	細 空年帝	語	定額	ЦX	収納額		不納欠損額		収納率 未納額	
	調定年度	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額(円)	(%)	件数	金額 (円)
	平成12年度	3	20,494	0	0	0	0	0.0	3	20,494
	平成13年度	14	95,630	2	4,770	0	0	5.0	13	90,860
	平成14年度	22	169,580	0	0	0	0	0.0	22	169,580
у .н.	平成15年度	12	75,600	0	0	0	0	0.0	12	75,600
過	平成16年度	16	104,162	0	0	0	0	0.0	16	104,162
	平成17年度	51	281,674	19	35,300	0	0	12.5	44	246,374
年	平成18年度	53	257,658	3	5,870	0	0	2.3	50	251,788
+	平成19年度	63	268,863	28	70,185	0	0	26.1	40	198,678
	平成20年度	44	1,901,816	11	21,509	0	0	1.1	33	1,880,307
度	平成21年度	48	2,546,621	22	87,341	0	0	3.4	30	2,459,280
1	平成22年度	72	2,379,426	29	144,942	0	0	6.1	47	2,234,484
	平成23年度	40	894,293	8	52,879	0	0	5.9	32	841,414
	平成24年度	5	21,901	1	1,942	0	0	8.9	4	19,959
	平成25年度	86	258,903	11	18,670	0	0	7.2	79	240,233
	平成26年度	95	225,197	5	11,370	0	0	5.0	90	213,827
	平成27年度	182	743,801	12	20,619	0	0	2.8	170	723,182
	平成28年度	177	1,032,853	13	39,274	0	0	3.8	170	993,579
	平成29年度	123	662,781	13	21,938	0	0	3.3	113	640,843
	平成30年度	155	1,079,972	44	129,388	0	0	12.0	124	950,584
	令和元年度	325	908,100	109	245,622	0	0	27.0	241	662,478
	令和2年度	11,857	37,597,483	11,681	36,448,602	0	0	96.9	315	1,148,881
'n	過年度計	13,443	51,526,808	12,011	37,360,221	0	0	72.5	1,648	14,166,587
Į	見年度計	119,755	408,246,779	108,184	370,440,093	0	0	90.7	11,912	37,806,686
Ê	ì ii	133,198	459,773,587	120,195	407,800,314	0	0	88.7	13,560	51,973,273

[※] 令和4年3月末現在では、3月分の水道料金は未納となっている。

[※] 収納に関しては内金で納付されたものがあり、必ずしも差し引いた未納額の件数にはならない。

【講評・所感】

《阿蘇医療センター》

令和3年度においては、総収益2,980,183,061円、総費用2,467,842,843円、当年度純利益512,340,218円を計上した。2年連続の利益を確保し、従来からの繰越欠損金も2,036,881.770円から1,524,541,552円となり、2年間で971,207,094円減少した。

また、新型コロナウイルス対策事業を含む補助金は、前年度の 1,059,803,860 円から 907,719,860 円と 152,084,000 円減少したものの、前年度比増収、増益を計上した。

このことは、コロナ禍(感染者延90人受入済)において、当阿蘇医療センター職員の努力の結果であり敬意を表したい。

次に、文書の取扱いについては、復命書の押印漏れ、業務委託契約書の起案文書において、決裁印漏れがあった。限られた人員の中でダブルチェックが困難であれば、ファイリング時にチェックすることも検討してほしい。

最後に、コロナ禍の中、今後オミクロン株のBA2からBA4・BA5系統への置き換わり、新たな変異株の出現、あるいは熱中症、インフルエンザ等への対策対応が必要と思われる。

阿蘇地区の中核医療機関として、地域住民の安全・安心のため業務に邁進されることを期待する。

《上下水道課》上水道係

令和3年度は、事業収入461,558,381円(前年度比881,113円減)、支出は441,147,552円(前年度比17,757,795円増)を計上し、純利益は20,410,829円(前年度比18,638,908円減)の減収減益となった。

減益要因としては、人件費・保険料・燃料費等の物価上昇に加え、特別損失の8,704,035円(前年度比8,686,460円増)の過年度損益修正損にある。本件は、特定収入と特定収入外の課税・課税対象外での税務当局との見解の相違であり、税務当局と協議により過去5年分の課税分を一括計上したもので、一過性のものである。

次に、事務面については、工事契約書に受注者の印紙欄に割印がないもの、起案文書の決裁済 印、発送済印漏れ、修正テープによる修正、決裁区分の誤りが見られた。一方、土地賃貸借契約書 における文言については改善が見られた。

また、収入未済額が平成20年から平成22年に偏在しており、阿蘇市合併後の負の遺産であり、費用対効果を検討し、処理すべき課題と思われる。

最後に、給水人口の増加が見込めない中、上下水道課の今後の持続可能性の検討をお願いしたい。